

2(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

情報リテラシー教育を支援するため、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 基本編」を4,000部作成し、新入生2,500人に配布した。また、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 英語版」を200部作成し、学内の新入留学生150人に配布した。さらに、後期の全学教育科目授業として図書館が中心となって「大学生のための情報検索術」を開講し、71名の受講があった。学生からの授業評価(「東北大学全学教育授業評価集計表」)でも「委員会平均」よりも概ね高い評価を得ている。

特筆すべき研究活動

東北大学機関リポジトリ(TOUR)のコンテンツの拡充を進め、Research and Education は32,000件以上、Rare Collection は16,000件以上を登録した。TOURには学位論文282件、博士学位論文の要旨と審査結果の要旨、20,553件、紀要論文10,081件、学術論文1,066件を始めとする約19,000件のコンテンツが登録され、毎月コンテンツに対して103,000件のアクセスがあった。TOURのコンテンツ拡充に当っては、国立情報学研究所の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業に応募し、外部資金290万円を獲得した。また、本学の学位論文等の登録推進のため、10研究科から平成20年度提出の学位論文の電子ファイルの提供を受けることとなった。さらに、大学情報データベースとTOURとの連携を図るための仕様を作成した。

特筆すべき社会貢献活動等

附属図書館の所蔵資料を合同企画展「関孝和没後300周年 はっぴいさんぼう 和算の世界へようこそ! 」を通じて宮城県図書館において平成20年10月25日から11月24日まで一般公開し、2,566名の入場者があった。また、児童文学作家遠藤寛子氏による講演会「算法少女のなぞ」と東北大学名誉教授の土倉保氏と宮城教育大学教授の萬伸介氏による講演会「和算を楽しんだ江戸時代の人々」、「いろいろな見方で楽しもう! 和算の問題」を開催し、200名の参加者があった。